

CS1D をお 買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

PM1D システムソフトウェア V1.70 について

PM1DシステムソフトウェアV1.70では、V1.62から以下の変更と補足ががございます。

● LMY2-MLAB/LMY4-MLFカードに対応

LMY2-MLAB/LMY4-MLFカードを認識できるようになりました。また、ユニットAI8-ML8AB/AI8-ML8Fを選択できるようになりました。これに伴い、INPUT UNIT画面での動作は以下ようになります。

INPUT UNIT画面での動作

- LMY2-MLABカードが認識されると、LMY2-MLと同じパラメーター表示になります。LMY4-MLFカードが認識されると、チャンネルごとにゲイン調整ノブ(+10~-68dB、1dBステップ)、+48Vボタン(ファンタム電源のオン/オフ)、φボタン(位相反転のオン/オフ)が表示されます。
- 入力用ユニットAI8にLMY2-MLABまたはLMY4-MLFが8枚装着されているように仮想接続するには、UNIT SELECTボタンをクリックしてUNIT SELECTウィンドウを表示させます。このウィンドウでAI8-ML8ABボタンをクリックするとAI8にLMY2-MLABが8枚装着された仮想接続が設定され、AI8-ML8FボタンをクリックするとAI8にLMY4-MLFが8枚装着された仮想接続が設定されます。
- 入力用ユニットAI8にLMY2-MLABまたはLMY4-MLFを仮想接続するには、該当するスロットのカード割り当てボタンをクリックして、CARD SELECTウィンドウを表示させます。このウィンドウで、LMY2-MLABボタンをクリックするとLMY2-MLABが、LMY4-MLFボタンをクリックするとLMY4-MLFが選択したスロットに仮想接続されます。

● LMY4-MLFカードからの入力を自動補正

LMY4-MLFカードは、他の2チャンネルのカードよりも信号処理が19サンプル速いので、他のカードからの入力信号とタイミングを合わせるために、インプットチャンネルに自動的に19サンプルのディレイが挿入されて補正されるようになります。インプットチャンネルにLMY4-MLFが割り当てられているときのみ有効です。また、この機能のオン/オフを設定するオプション「LMY4-MLF AUTO DELAY CORRECTION」がINPUT UNIT画面に追加されました。

ノート:

- インプットチャンネル/MIXチャンネル/STEREOチャンネル/MATRIXチャンネルのインサートインに割り当てられている場合は、自動補正されません。
- MIX SEND POINTがPRE EQの場合、MIX SENDの信号は自動補正されません。
- DIRECT OUT POINTがPRE EQの場合は、自動補正されません。
- SUB IN/MONITOR DIRECT IN/COMM INに割り当てた場合は、自動補正されません。

● GLOBAL PASTE画面とCH COPY画面にVARI PAN LINK HOLD機能を追加

これまで、グローバルペースト機能でPAN/BALやSENDパラメーターだけをペーストすると、強制的にVARI PAN LINKが解除されていました。V1.70では、PAN/BALやSENDパラメーターをペーストするときにVARI PAN LINKを保持するかどうかを設定するVARI PAN LINK HOLDボタンが追加されました。このボタンは、GLOBAL PASTE画面のPARAMETER SELECT欄でPAN/BALボタンまたはSENDボタンがオンのときのみ、操作できます。

ノート:

- SENDパラメーターをペーストした場合、VARI PAN LINK HOLDがオンでペースト先のVARI PAN LINKがオンのとき、MIX SENDのPANパラメーターはペーストされません。VARI PAN LINK HOLDがオフのときは、ペースト先のVARI PAN LINKがオフになり、MIX SENDのPANパラメーターもペーストされます。
- PAN/BALパラメーターをペーストした場合、VARI PAN LINK HOLDがオンでペースト先のVARI PAN LINKがオンのときは、MIX SENDのPANにPAN/BALパラメーターがペーストされません。VARI PAN LINK HOLDがオフのときは、ペースト先のVARI PAN LINKがオフになり、MIX SENDのPANにはペーストされません。
- CH COPY画面にも同様にVARI PAN LINK HOLDボタンが追加されています。

● タイムコードイベントの補足

タイムコードによるシーンリコールの頻度が3秒あたり5シーン以内であっても、3フレーム以内の間隔でリコールが設定してあると、シーンの内容によってはリコールできない場合があります。タイムコードイベントを実行すると「TIME CODE: EVENT RECALL SKIPPED!」とメッセージが表示される場合は、リコール間隔を少し空けてみてください。また、シーンの消去やライブラリーのストアなどにより、シーンデータが内部的に分割されてストアされている場合は、リコール動作が3秒あたり5シーンよりも遅くなる場合があります。これを改善したい場合は、メモリーカードにデータをSELECT ALLでセーブして、CS1Dの画面のソフトウェアをアップロードし直してから、セーブしたファイルをロードしてください。